

準備 = たゆまない努力

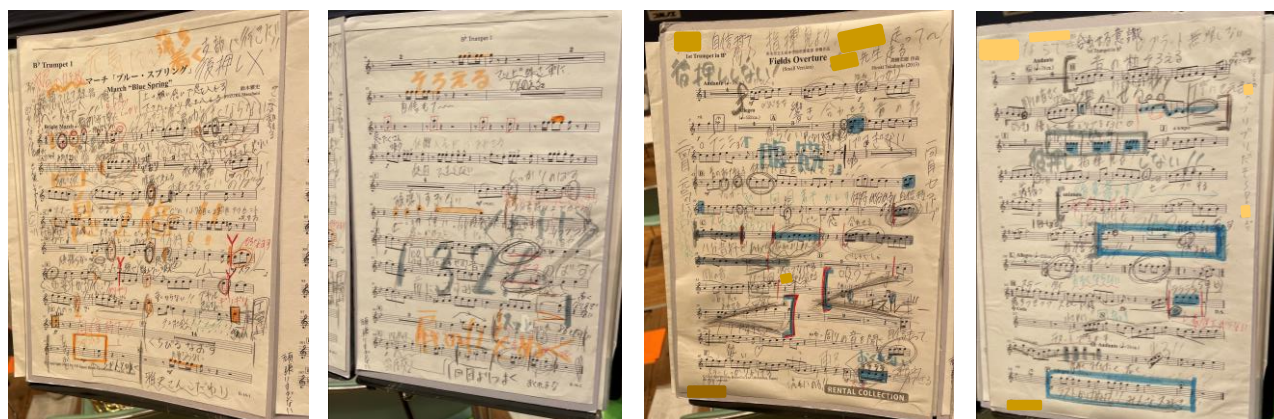
今日は太宰府市4中学校演奏会（1日目）がありました。かつては、合同演奏もしていましたが、コロナ禍のため、合同演奏は実施せず、学校ごとの演奏のみとなりました。

先日、紹介しましたコンクール（吹奏楽・箏曲）に引き続き、今日も素敵な演奏を聴かせてもらいました。最後は、「**もっと聴きたかった**」と強く思う、**心に響く演奏**でした。

今日はプラムカルコアでの演奏でしたので、コンクールと違い舞台裏で生徒と話したり、リハーサルの様子を見たりすることができました。コンクールとはまた違い、子ども達が身近に感じるステージで、「**こういう身近に感じる演奏会もいいな**」と思いました。

そのような中、ふと、ある生徒の楽譜を見たら、楽譜に色々と書き込まれていました。演奏上の注意として、「**だんだん強く**」などが書かれていました。また音楽記号にも色が塗られており、演奏のポイントが一目で見て分かるように書かれていました。

その生徒に「**すごいね。たくさん書いてあるね**」と言ったところ、「**先輩はもっとすごいです**」と返事が返ってきました。そこで、3年生のある生徒の楽譜を見せてもらったところ、本当にたくさん書き込まれていました。『**さすが、3年生!**』と感心する楽譜でした。それが下の楽譜です。



いかがですか。すごい書き込みです。これだけ書き込まれた楽譜を見るのは、初めてでしたので、思わず「**写真を撮らせて**」とその生徒にお願いし、写真を撮らせてもらいました。この生徒の『**やる気**』、『**演奏にかける意気込み**』、『**もっと上手になろうとする向上心**』…どれもとても素晴らしいと思いました。この生徒に限らず、吹奏楽部の皆が、このように努力をしているのだらうと思います。日々の練習を大事にして、演奏会までにこれだけの準備をして臨んでいることでしょう。だからこそ、当日の演奏は、人を感動させるだと思います。演奏を聴いて感動しますが、吹奏楽部員の陰の努力に改めて感動しました。

何をしても**準備は大切**です。当日までにどれだけの準備をしたかで、当日は決まると言っても過言ではありません。これだけのたゆまぬ努力をしてこそ、演奏会やコンクールで聴く人を感動させ、奏者も達成感を得られます。吹奏楽部の演奏の裏側にあるもの＝**部員達のたゆまぬ努力**を見ることができました。

今日は吹奏楽部から素敵な一日をいただきました。